

第3回 八王子市景観計画策定等検討会議 参考資料

1. 第2回検討会議での主な意見
2. 景観ウォッチングについて

平成21年1月29日

1. 第2回検討会議での主な意見

●第2回検討会議での主な意見の概要

- ・市全体の方向性はよいが、現実的にどういった問題、課題があるか。具体の課題に即して検討し、もう一度全体の方向性として立ち返った方がよいだろう。
- ・具体的問題や取り組みの考え方を共有化していくことが大切。
- ・八王子らしさというものが表現されるよう、多様な、多角的な視点で捉えていくことが大切。
- ・なぜ景観が大切なのか、なぜ取り組む必要があるのか、ということ議論しておくべき。

○市全体の景観、骨格的景観について

- ・八王子市の景観は広範かつ多様なものであり、どのように考えていけばよいか、またどういったところに八王子らしさを見出すか。市民も市全体を理解することは難しいだろう。市全体に対して誇りに思えるかどうか。
- ・骨格となる拠点、軸など、人々の生業が積み重なって現在の姿になっている。また、各種法制度の中で人々が生活をしており、法の積み重なりが、現在の姿をつくっている。
- ・拠点などにあげている場所で、どれだけいい風景があるのか。
- ・方向性の文言はよいが、具体の施策につなげるときにどう考えるか。八王子らしさというものが表現されるように考えていくべき。
- ・眺望（点）というものが重要になるだろう。浅川の眺望は大切なものである。風景として立体的に捉えていくことも考えながらまとめていくことで特徴が出るのではないか。
- ・人の視線からの風景というものも大切にしていきたい。
- ・自然、歴史・文化、まちなみといった区分で、まちなみが最も大きな課題。
- ・緑や水など自然景観はよいが、都市景観、活動の拠点といったものをどう捉えるかが問題。
- ・自然と人工物をうまくつなぐストーリーを考えていくべき。
- ・イベントや祭事なども景観として重要な要素である。
- ・大学キャンパスが多いことも特徴。まちの景観を考える上で、それぞれの敷地（キャンパス）のもつインパクトは大きいだろう。
- ・都心の農地の景観ということも大切にすべき。郊外に住みたいという欲求、農にふれ合うこと、農がある喜びというものはある。
- ・まちは常に変化するものであり、時間的な流れでの捉え方なども必要ではないか。
- ・具体的問題や地区を出していきながら、どういった問題に対して、どう対処していくかの検討を通じて、全体の方向性の検討に立ち返った方がよいのではないか。

○地域の捉え方について

- ・地域の捉え方を時間軸の考えとあわせてみてはどうか。市全体として、長期的に取り組むべきこと、50～100年後を見据えた取り組みとして、子孫に残していく景観。中期的には、市民レベルでの取り組み、1つのまちの個性を市民も考え、自分で体感していけるような景観。短期的には、近隣の問題、現実的な問題への対応、といった考え方はどうだろうか。
- ・源流域で考えるという視点も大切ではないか。河川だけでなく、湧水など水辺の景観にもいろいろある。
- ・川の流れとまちの関係、まちの成り立ちに大きく関係するものであり、いろいろなものが流域という考え方でつながるかもしれない。
- ・スケールで捉える場合以外に、点や線など要素で捉える場合、住宅地など地域、面で捉える場合などがあるが、これ以外の+αが重要。
- ・地域、地区というものだけでなく、個々の資源、といったものもあるだろう。
- ・地域の区分について、何のためにやるのか、意味をもっと明確にするべき。

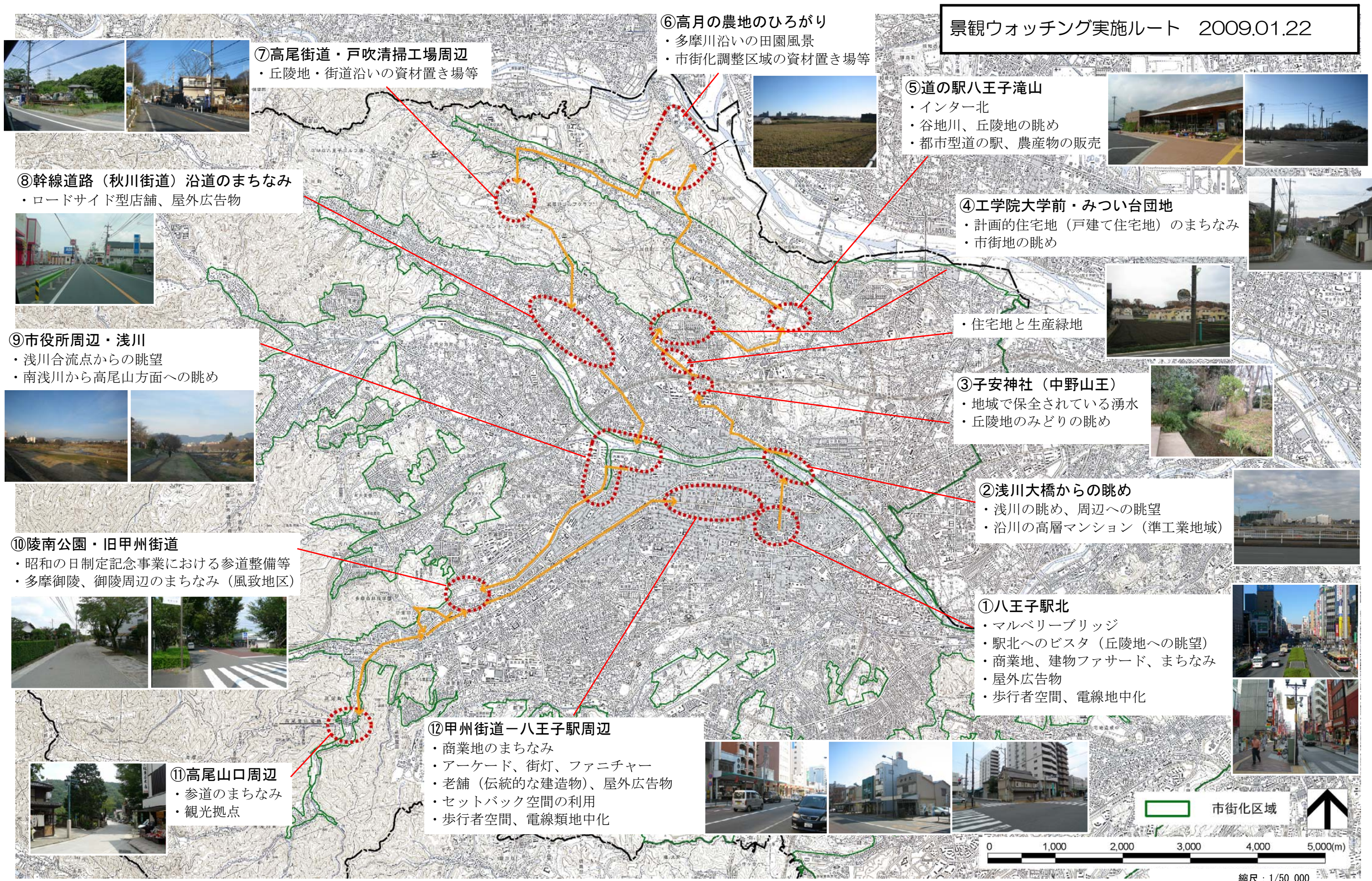
○景観施策の検討について

- ・まちを元気にしていく計画として認識している。商店街の衰退が大きな問題。住んでみたいという点についてはポテンシャルは高いが、行ってみたいと思うことが大切。
- ・景観まちづくりとまちの活性化がどうつながっていくか。商業環境が魅力的で歩いて楽しい空間であることが重要になるだろう。
- ・なぜ景観が大切か、なぜ取り組むかについて議論するべき。

○具体的問題、取り組みについて

- ・駅前、駅ビルが最も圧迫感がある。景観の取り組みとしてこれはなんとかなるのか。
- ・河川周辺でのマンション建設の進行、身近な変化や遠くの景色の変化など、なんとかしたいと感じるがどうできるのか。
- ・清水パークの周辺や駅周辺の電柱が目につく。まずこういったところから取り組むべき。
- ・まちなかの緑について、緑が大切、といってもどの緑で、どのような緑なのか、緑のあり方を考えるべきではないか。
- ・市街化調整区域における不法投棄や産廃処理場など、荒廃していくのではもったいない。こうしたことに対して景観法でどこまで対応できるかも検討していくべき。
- ・現在のマンションは公共空間に対する視点で建てられていないと感じる。本質的な問題を含めて取り組めるよう検討したい。

2. 景観ウォッチングについて



■視察場所とテーマ、主な意見

視察場所	主な視点、テーマ	主な意見（視察後の意見交換の場にて）	現地写真
① JR八王子駅北口	<p>■都市活動の拠点、駅周辺における景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商業地における賑わいのある景観 ○駅北部の丘陵地への眺望（見通し） ○屋外広告物や建物のファサード、まちなみ ○マルベリーブリッジや歩行者空間、電線類地中化等 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク壱番街通りなど、整備したところは人の流れが多く、整備の効果がみられる。 ・オリンパスの広告物は、アートとして評価されているが、駅前のもものは設置場所が良くない。ビル形状に応じてデザインを工夫しているものが多いが駅前のものはビルとのバランスが悪い。 ・駅前の景観は乱雑。ひどいという意味で際だっている印象。どのようにイメージを統一していったらよいのか。 ・まちなみをみると、いろいろとやりすぎている。通りによってデザインが異なったり、付属物が多すぎる。ベースカラーを決めて整備していった方が良い。また、公共的な部分を先行して実施していくべき。 ・駅ビルの西側に建つビルは、看板でファサードが見えなくなっている。ここまでやりすぎてしまうのは良くない。 	
② 浅川大橋・浅川	<p>■河川の景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市内の連続するオープンスペース、自然景観 ○河川の眺め、周辺への眺望 ○沿川（準工業地域）における高層マンション 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進められている護岸工事はどのようになるのか。 ・河川周辺の目立つ大規模な建物について、何とかしてほしい。景観としてどういったことができるのか。 ・橋の欄干のデザインなど、個々のものを良くしていくことが大切。 ・河川の護岸工事は、日本全国で、地域との関わりを考えずに実施されている。もっと地域との関わりを考えるべき。 ・八王子の眺望、という点で考えたとき、橋梁が大切であると考えます。 	
③ 子安神社（中野山王）	<p>■水辺（湧水）の景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域で保全されている湧水 ○丘陵地の緑の眺め 	<ul style="list-style-type: none"> ・湧水で鯉が泳いでいて、昔は生活の中で利用されていたのだと想像した。 ・周辺の市街地の生産緑地の状況を見て、生産緑地は地域性として大切だが、時期的なためか、ビニールハウスが破れているなど、荒れている印象を受けた。生産緑地はまち中で生き生きとしていることが大切。 	
④ みつい台団地	<p>■計画的戸建て住宅地の景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○丘陵地に計画開発された住宅地のまちなみ ○丘陵地から市街地への眺め 	<ul style="list-style-type: none"> ・みつい台団地からインターチェンジ周辺へ抜けると、ホテルや緑色のアパート、カラフルな学生用のアパートなどがみられ良くない印象だった。 	
⑤ 道の駅八王子滝山 新滝山街道	<p>■交通拠点の景観、河川の景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中央高速インター北用地の土地利用 ○谷地川の景観 ○丘陵地の眺め ○都市型道の駅（施設の景観・地元農産物直売） <p>■幹線道路の景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しく整備された幹線道路 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅はデザインも落ち着いていて周りの景観とあっていた。 	

	視察場所	主な視点、テーマ	主な意見（視察後の意見交換の場にて）	現地写真
⑥	高月町	<p>■農業地の景観、丘陵地の景観</p> <p>○多摩川沿いのまとまりのある農地、田園風景</p> <p>○丘陵地（市街化調整区域内）における資材置き場等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地から奥に行けば行くほど自然景観が豊かだと感じた。これらが今後どうなっていくか、ということを考えることが大切。 ・加住丘陵を超えて、八王子の地形を実感し、地形構造と街道筋が特徴的だと感じた。 ・資材置き場は必然的にできるものであり、今後どのように考えていけばよいか。 	 
⑦	高尾街道、戸吹清掃工場周辺	<p>■丘陵地の景観、幹線道路の景観</p> <p>○高尾街道沿い（市街化調整区域の土地利用動向）の資材置き場等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近郊の都市では資材置き場は見られる。隠す方法を考えていかないといけない。 ・市街化調整区域で見られる資材置き場や残土について、景観だけで取り組むことは困難だが、このままで良いわけではない。いろいろな方法を考えて取り組むべき。 	 
⑧	秋川街道	<p>■幹線道路の景観</p> <p>○秋川街道沿い（市街化区域）の動向</p> <p>○ロードサイドショップの立地と屋外広告物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通りを走っていて、各場所に立地している屋外広告物をみると、やりすぎな印象を受けた。 	 
⑨	八王子市役所前、南浅川	<p>■河川の景観</p> <p>○浅川合流地点からの眺め</p> <p>○南浅川から高尾山方面への眺め</p>		 
⑩	陵南公園、旧甲州街道	<p>■歴史的地区の景観、景観整備事業におけるまちなみ景観</p> <p>○昭和の日制定記念整備事業</p> <p>○旧甲州街道の歴史的なまちなみ</p> <p>○多摩御陵、御陵周辺のまちなみ（風致地区）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園周辺の河川は自然の状態が多くきれいな印象をもった。 	 
⑪	高尾山口駅周辺 高尾駅周辺	<p>■歴史的地区、観光地の景観</p> <p>○参道のまちなみ</p> <p>○全国に誇る観光拠点の景観</p> <p>■都市活動・観光拠点、駅周辺における景観</p> <p>○駅前のまちなみ</p> <p>○甲州街道のイチョウ並木、沿道のまちなみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高尾山の周辺は良いところだが、ケーブルカー駅舎のデザインが周りに合っていない印象。 ・高尾山参道はまとまりが感じられる。 ・モデル的な広告物を形成（例えば白地に墨文字）・設置して、まちの基準としていくといった取り組みを実施してはどうか。 ・高尾駅の駅前広場の話を聞いて、今の駅舎は良い物なので何とか残してほしい。 	 

	視察場所	主な視点、テーマ	主な意見（視察後の意見交換の場にて）	現地写真
⑫	甲州街道、及び周辺	<p>■幹線道路、商業地の景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商業地、市の中心商業地のまちなみ ○老舗（伝統的な建造物）や近年の商業施設、屋外広告物 ○甲州街道沿道の建物のセットバック（壁面後退、行政指導による）、とその空間の利用状況 ○歩行者空間、電線類地中化等の整備 ○アーケード、街灯、ストリートファニチャー ○八王子まつり・山車巡行等 	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的に設置されているハンギングポットなどは気持ちが安らぐ。 ・デザインが統一されていないアーケードについて、もっと早く商店街の歩調をあわせていたら、と残念。 ・現在のアーケードのデザインはどうかと思う。一から取り組む必要があるのではないか。 ・アーケードの有無、街路灯のデザインがバラバラなど統一感がない。 ・アーケードや商業施設のデザインとまちの活性化を考えること、人が歩くことを意識してつながりを持たせることが大切。モデル的にどこか取り組めれば、と思う。 ・アーケードが設置された頃の昔の商店は、現在ではほとんどみられず、アーケードは基本的になくても良いのではないかと感じた。 ・アーケードや街路灯など、それぞれの理屈でできているが、あまり自己主張しないことが大切だと考える。占用物や付属物、いろいろなものがあふれており、集約又は減らしていくということが必要。また、統一感という点で、全く同じものにするのは難しいが、一定のルールをつくることは必要だろう。・国道20号の交通標識で山車が通れないところがある、という話を初めて聞いたが、山車の方で工夫するのではなく、標識の方を可動式にするなど、個々の工夫検討が必要。 ・インフラ整備として、何もしない（いろいろと設備を設置しない）ことが良いと考えている。 ・八王子まつりを大事にする、という視点は大切であり、まつりを活かす空間を考えるべきではないか。 ・建物の形態がバラバラなことが問題。昭和50年代はスカイラインがそろっていた（建物の高さがそろっていた）イメージがある。 ・通り沿いにはマンションが多く、ファサードや外部空間がバラバラ。ガイドラインなど一定のルールが必要。 ・沿道建物のセットバックなど、民地に対する誘導だけではなく、公共空間についての考え方を整理することが大切。 	
	その他、全体的にみられたこと、印象など		<ul style="list-style-type: none"> ・今回市内をまわって、こんなに田舎だとは思わなかった。生産緑地などいろいろなレベルの農村がある。 ・八王子の景観について、自然が大きな要素であることを実感した。 ・道路ごとのデザインがバラバラ。特に交差点部分などでそれを強く感じる。 ・全般的に、ロードサイドの屋外広告物について、それ単体ではなく、沿道景観として長いスパンで捉えていく必要がある。 ・近年の屋外広告物の傾向として、映像メディア、LEDなどが主流になっている。何か早急に対応する必要があると感じている。 ・屋外広告物は、それ自体の大きさより、設置場所による場所の影響が大きい。 ・道路についていろいろと色が付いているが、メリハリがないといけない。地（背景）と図として考えると、道路は地であり、これにふさわしい色であるべき。 ・眺望を確保するために建物の高さ規制を行っている自治体があるが、八王子として眺望を考える場合、何を見せたいのか、優先すべきなのか、ということを考えるべき。 	